

この冊子を手にとった皆さんへ

15 ～ 20 才……

心身ともに大きく成長する学生たち

その過程に寄り添うことは

高専でしかできません。

研究もしたい、教育もしたい

両方できる仕事があります。

Contents

この冊子を手にとった皆さんへ	2
国立高等専門学校はこのような学校です	3
高専教員はこのような仕事をしています	4
高専に設置されている学科の紹介	5
高専は女性教員の働きやすい環境を整備	6
女性教員インタビュー	
富山高等専門学校 物質化学工学科助教 高松 さおり	8
熊本高等専門学校 生物化学システム工学科講師 若杉 玲子	10
豊田工業高等専門学校 一般学科助教 大森 有希子	12
長野工業高等専門学校 環境都市工学科准教授 酒井 美月	14
富山高等専門学校 国際ビジネス学科准教授 宮崎 衣澄	16
仙台高等専門学校 知能エレクトロニクス工学科教授 藤木 なほみ	18
高専女性教員の皆さんに聞きました	20
高専教員になるには	22
女性スマイル・アップ プロジェクト	23

国立高等専門学校はこのような学校です

1 国立高専の概要と教育の特色

1950年代後半の高度成長期に高まった実践的技術者養成のニーズに応えて、1962年に初めて国立高等専門学校（以下、「高専」とする）が設立されました。

高専では、社会が必要とする実践的技術者を養成するため、既存の大学の教育システムとは異なって、中学卒業後の学生を受け入れ、5年間（商船高専は5年半）一貫して高等教育を行っています。すなわち、高専とは、既存の高等学校の1～3年生と大学の1～2年生とが、一つの学校で5年間共に学んでいるような、ユニークな高等教育機関なのです。5年間の本科の後は、さらに2年間の専門教育を行う専攻科も設けられています。学生は、専攻科修了時に、審査を経て、学士の学位を取得することができます。

高専では、幅広く豊かな人間教育を目指し、一般科目と専門科目をバランスよく学習しつつ、早期から実験・実習を重視した専門教育を行うところが特徴です。こうした早期からの専門教育によって、大学生とほぼ同程度の専門的な知識や技術を身につけることができます。

2 キャンパスの多様性

各高専には、機械工学科、電気工学科、電子制御工学科、情報工学科、物質工学科、建築学科、環境都市工学科、商船学科などの専門学科（詳細は5頁参照）のうち、3～7学科が設置されています。学生たちは、それぞれ異なる学問分野を専攻していますが、基礎科目やクラブ活動、寮生活などで他学科の学生と交流を深める中で、様々な専門分野の視点や発想に触れながら学生生活を送っています。このようなキャンパスの多様性が、オリジナリティあふれる学生の輩出に大きな役割を果たしていると言えます。

3 国際化への取り組み

① 留学生・国際交流

国立高専では世界各国から多数の留学生を受け入れる一方、各高専で交流協定を締結している海外の教育機関に学生を派遣しています。また、学生主体の国際シンポジウム（ISTSなど）の開催や、教員の学会活動・研究活動等による海外渡航を推奨するなど、国際交流推進を実践しています。

② 在外研究員制度

国立高専には、教員を海外の教育研究機関等へ派遣する「国立高等専門学校機構在外研究員」制度があります。これは教職員を先進的な研究や優れた教育実践に参画させ、教育研究能力の向上を図り、各校の教育研究を充実させることを目的としているものです。

③ 国際工学教育研究会（ISATE）

国立高等専門学校機構、長岡技術科学大学、豊橋技術科学大学、そしてシンガポールのポリテクニク5校による共催で、毎年アジアやヨーロッパなど世界の国・地域から教育関係者が参加し、技術者教育に関する活発な議論と情報交換が行われています。

4 産官学の連携

国立高専は、研究推進・産学連携活動を「学生の教育と同様な重みを持つ基本的使命の一つ」と位置づけています。各高専には、高性能な実験研究装置を備えた、地域共同テクノセンター等が設置され、地域の企業との共同研究、受託研究、技術相談、共同教育事業および企業等の技術者の再教育などを推進しています。

